

## 次期「千葉県保健医療計画」について

リハビリテーション対策(地域リハビリテーション支援体制の整備)部分



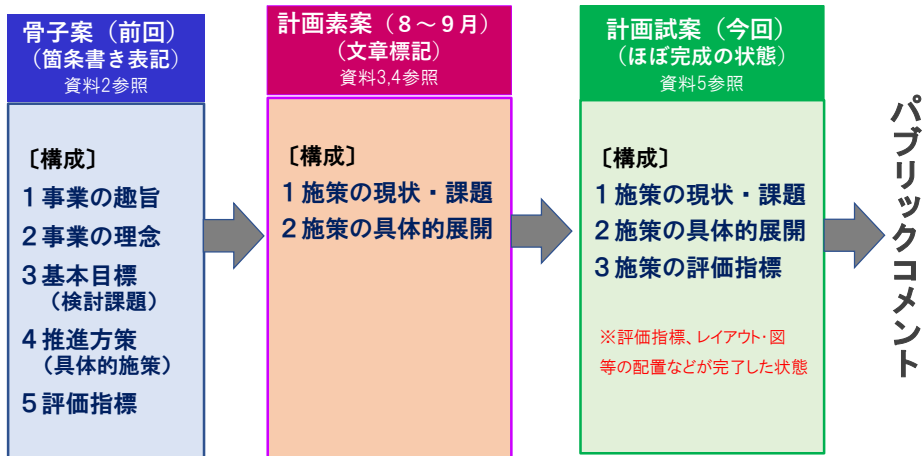
令和5年11月  
千葉県健康福祉部 健康づくり支援課  
地域リハビリ班

### 次期「千葉県保健医療計画」の検討経過

時 期	資料の名称		経過の説明
7月	骨子案	資料2	「今後の地域リハビリテーションのありかた検討会」で検討が行われた内容を事務局で作成し、第1回千葉県地域リハビリテーション協議会で了承された。
8～9月	計画素案 の原案	資料3	骨子案をもとに事務局で原案を作成し、地域リハビリテーション協議会員に対し、意見照会を行った。
9月	計画素案	資料4、 参考資料	寄せられた御意見を可能な限り反映させ、素案の内容を協議会長に了解を得たうえで、医療審議会の事務局(健康福祉政策課)に提出を行った。
11月	計画試案 の原案	資料5	「今後の地域リハビリテーションのあり方検討会」などで検討された評価指標や図表を加え、事務局において試案の原案を作成した。

## 次期「千葉県保健医療計画」の検討経過

「あり方検討会」や「地域リハ協議会」で検討された骨子案のエッセンスを計画素案に反映させ、必要な調整を経て計画試案を作成した。



3

3

## 次期「千葉県保健医療計画」の検討経過

協議会員からの御意見等	計画案の反映箇所	理由
<p>地域共生社会の実現においては、障がいの有無、または小児（子ども）や高齢者といった年齢的な枠組みにあてはまらない方、いわゆる「属性を持たない方」への支援もリハ職がかかる対象に含めることはできないか。</p> <p>※（イ）の文中についての御意見</p>	<p>（イ）施策の具体的展開〔地域リハビリテーション支援体制の整備〕 「～また、障害のある人や小児などの対象者についても」を、地域共生社会の表現に合うよう「～また、<b>障害の有無や年齢、世代を超えた対象者について</b>」に修正する。 （ア）施策の現状・課題の文中も（イ）と同じ表現に修正する。</p>	<p>協議会員の意見を踏まえ、地域リハ支援体制整備推進の理念の趣旨を鑑みた表現に改めた。</p>
<p>「患者の症状」という言葉が使われているが、地域リハビリテーションは、病院に入院中の方よりは、地域に暮らす住民が主たる対象であり、また、予防に関することを含めるのであれば、適切な表現（※）を改められないか。</p> <p>※「患者」・・・①「その人」②「対象者」 ③「当事者」④「ケース」 「症状」・・・①「状況」②「状態」</p>	<p>（ア）施策の現状・課題 「患者」を「<b>当事者</b>」、「症状」を「<b>状態</b>」にそれぞれ修正する。 （イ）施策の具体的展開〔地域リハビリテーション支援体制の整備〕の文中も（ア）と同じ表現に修正する。</p>	<p>協議会員の意見を踏まえ、本文に適合するような表現に改めた。</p>

4

4

## 次期「千葉県保健医療計画」の検討経過

協議会員からの御意見等	計画案の反映箇所	理由
<p>「維持期・生活期においても回復した機能を向上・維持していくためには、」のところで 維持期・生活期のリハビリテーションは、「機能」の向上・維持に加えて、「活動や参加」が一層求められるところではないか。「維持期・生活期においても回復した機能を向上・維持し、活動や参加に繋げるためには、」という表現にしてはどうか。</p> <p>※御意見等の詳細は別紙参照</p>	<p>(ア) 施策の現状・課題 「維持期・生活期においても回復した機能を向上・維持していくためには、」を維持期・生活期の内容を踏まえ、「維持期・生活期においても回復した機能を向上・維持し、<b>活動や参加に繋げるためには、</b>」に修正する。</p>	<p>協議会員の意見を踏まえ、維持期・生活期の内容を補記した表現とした。</p>
<p>「市町村が中心に実施している地域包括ケアとのリハビリ分野での連携強化」と「リハ・パートナー施設の増加と活動の強化」について受け入れられるような部分があれば、本文に活用してほしい。</p>	<p>(イ) 施策の具体的展開〔地域リハビリテーション支援体制の整備〕 「高齢者に対する支援においては、地域包括ケアシステムの一層の推進に向け、市町村に対する事業協力として通いの場や地域ケア会議等積極的に参加します。」を市町村事業におけるリハ・パートナーの関係性を踏まえ、「高齢者に対する支援においては、市町村が中心となって実施している地域包括ケアシステムの一層の推進に向け、<b>関係機関の協力のもと、リハ・パートナーの質と量を確保し、活動の充実を図ることで、</b>通いの場や地域ケア会議等積極的に参加します。」に修正する。</p>	<p>協議会員の意見を踏まえ、市町村との一層の連携強化を図るため、リハ・パートナーの積極的な活用を進めていく表現とした。</p>

5

5

## 次期「千葉県保健医療計画」の検討経過

協議会員からの御意見等	計画案の反映箇所	理由
<p>「障害のある人（子どもを含む）や高齢者を含め地域に暮らすすべての県民が～」について「その人を介護（お世話）している人」を追加してはどうか。</p> <p>※御意見の詳細は別紙参照</p>	<p>(ア) 施策の現状・課題〔地域リハビリテーション支援体制の整備〕 「障害のある人（子どもを含む）や高齢者を含め地域に暮らすすべての県民が・・・」を当事者を間近で支える存在も加え、「<b>障害のある人（子どもを含む）や高齢者、さらには共にする家族を含め</b>地域に暮らすすべての県民が・・・」に修正する。</p>	<p>協議会員の意見を踏まえ、当事者の家族を含めた表現とした。</p>
<p>「高齢者の機能低下の予防」とあるが、高齢者も非常に活動的で機能低下を認めない人から、低活動で体力が低下している人まで様々。人によって「機能低下の予防」のアプローチは異なってくると思うが、ここでは、どのような人を想定しているのか、あるいは誰によるどのようなアプローチを想定しているのか。</p>	<p>高齢者であっても、健康な人もいれば、何らかの疾病を有していて体力が低下している人もいることから、予防のための様々な職種による、その状態に応じたアプローチを想定している。</p> <p>(ア) 施策の現状・課題 「機能低下の予防」という表現では、主に「心身機能や構造」に関わる障害に起因する機能障害の予防と捉えられかねないことから、「<b>生活機能の低下の予防</b>」に修正する。</p>	<p>当事者の状態に応じた予防に対応したものとなるようICF（国際機能生活分類）の概念に合わせた表現とした。</p>
<p>骨子案 4 推進方策（4）のウとエの区別がつきにくいのではないかと思います。</p> <p>※御意見の詳細は別紙参照</p>	<p>基本目標を達成するための項目が混同しないよう、<b>4 推進方策（4）ウの内容を削除し、エの内容をウに修正する。</b></p>	<p>協議会員の意見を踏まえ、基本目標達成の項目に混同が生じないように記載を改めた。</p>

6

6

## 次期「千葉県保健医療計画」のポイント

施策の現状・課題	方向性	具体的施策の展開	取組の例示
地域住民や関係機関における地域リハビリテーション全般に対する認知度が低いのではないか。	地域リハビリテーションを色々な方知ってもらおうための取組をしよう。	○ 広域支援センターが実施する取組について、様々な広報媒体を通じての周知展開を図っていこう。	○ 千葉県ホームページ 地域リハ関係情報の充実 ○ 県民だより・県X（旧ツイッター）による広報
高齢者に対する取組（介護予防事業）が中心となっているのではないか。	もっとユニバーサルな視点で取り組んでいこう。	○ 幅広い領域に対する支援に向けた市町村各担当部局との関係性づくりを行っていこう。 ○ 介護予防領域においては、地域包括ケアシステムの一層の推進を図っていこう。	○ 連絡体制の構築、意見交換会の実施 ○ ちば地域リハ・パートナーの積極活用

7

7

## 次期「千葉県保健医療計画」のポイント

施策の現状・課題	方向性	具体的施策の展開	取組の例示
各圏域により、人口・面積、地形、インフラなど取り巻く環境やリハ資源は様々な状況にある。	地域リハ活動の一層の推進のためにサステナブルな支援を可能にする体制を考えていこう。	○ 地域課題の解決に向け、県支援センターが積極的に関与していこう。 ○ 関係機関と連携した地域リハ研修の充実や過去の好事例や培われたノウハウなどを共有化する仕組みの構築していこう。	○ 県支援センターによる市町事業への協力 ○ 地域リハ研修プログラムの構築
自然災害や感染症の発生など有事に直面する機会が多くなっており、地域住民の暮らしが脅かされているのではないか。	平時・非常時問わず、関係機関等との「つながりづくり」に取り組んでいこう。	○ 地域住民や関係機関との対話による地域課題の把握していこう。 ○ 地域の実情に応じ「つながりづくり」をサポートしていこう。	○ 有事に向けた新たな取組を展開

8

8

## 次期「千葉県保健医療計画」の評価指標

### ■ 現行計画の評価指標について

指標名	現 状	目 標 (令和5年度) 【目標達成に向けた今後の取組】
① 広域支援センターの支援機能を補完する指定機関数 (「ちば地域リハ・パートナー」として登録している機関の数)	173 (令和5年10月25日時点)	200 【関係団体を経由した周知活動】
② 広域支援センターと連携している行政機関数	市 町 村 38 令和3年度調査では「34」 地域包括支援センター 73 令和3年度調査では「47」 (令和5年10月25日時点)	市 町 村 40 地域包括支援センター 150 【担当者会議等を通じた周知活動】

### ■ 現行計画の評価指標の課題

- ① リハ・パートナー制度の創設から7年経過しており、指定機関を増やすだけでなく、実際に地域で活動できる「パートナーづくり」が求められている。
- ② 現状把握のための調査の間隔が長く、また、集計に時間を要することから短期間での把握が難しい。

9

9

## 次期「千葉県保健医療計画」の評価指標

### ■ 次期計画の評価指標案について

指標名	現 状 値	目 標 (令和11年度)
「地域リハビリテーション研修プログラム」修了者数	— (令和5年度)	700人
「地域リハビリテーション研修プログラム 修了者」が在籍する「ちば地域リハ・パートナー」登録機関数	— (令和5年度)	250機関
「地域づくり」を実践している「ちば地域リハ・パートナー」機関数	— (令和5年度)	200機関

### ■ 次期計画の評価指標案の選定について

- 「今後の地域リハビリテーションのありかた検討会」において今後の取組として「地域リハビリテーションに関する研修」の充実が挙げられていること
- 「ちば地域リハ・パートナー」の質と量の確保や地域での活動については、本協議会で意見が寄せられていること

10

10

## 次期「千葉県保健医療計画」の評価指標

### ■ 次期計画の評価指標案の考え方等

指標名	目標値について	指標の考え方について
「地域リハビリテーション研修プログラム」修了者数	○ 他県で行われている地域リハビリテーション研修の実績値を参考に目標値の設定を行った。	○ 県、県支援センター、広域支援センター等で研修プログラムの検討を行い、準備を進めていく。 ○ 一連の研修を受講した者を修了者とする。
「地域リハビリテーション研修プログラム 修了者」が在籍する「ちば地域リハ・パートナー」登録機関数	○ 地域包括支援センター1箇所につき、1つのリハ・パートナーが活動できることを目指して、地域包括支援センター設置数と同程度の数を目標値として設定した。	○ すべてのリハ・パートナーが研修プログラムの受講・修了を目指し、質の向上を図っていく。
「地域づくり」を実践している「ちば地域リハ・パートナー」機関数	○ 人的な協力を行っているリハ・パートナーが、全体の約5割となっている現状を踏まえ、市町村等関係機関との更なる連携が図れるよう、高みを目指した目標値の設定を行った。	○ 研修プログラムを修了した「ちば地域リハ・パートナー」の8割が、市町村主催の地域ケア会議に出席するなど、地域において人的な協力を行うことを目指す。

### ■ 現行計画の指標の取り扱い

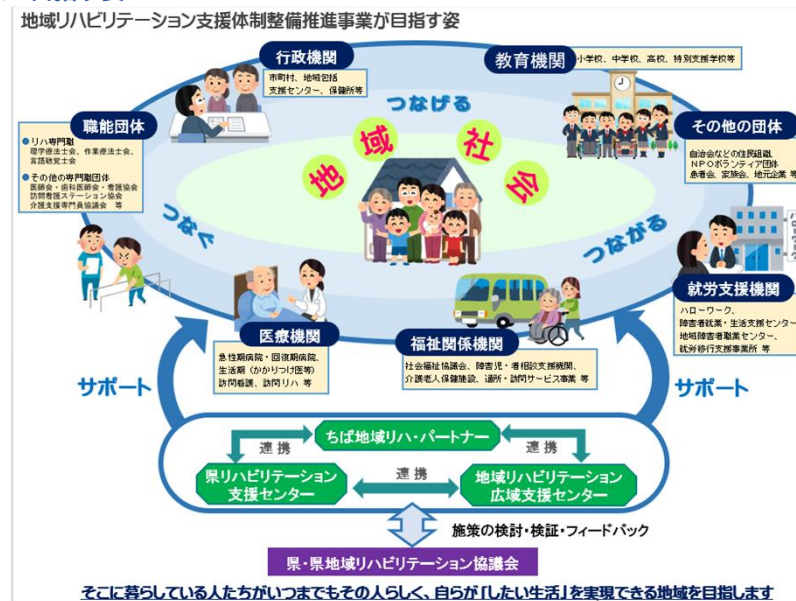
次期計画には掲載しないが、定期的に把握した数値は、各支援センターや地域リハ協議会において共有を図り、事業推進の参考としていく。



11

## 次期「千葉県保健医療計画」の図表（事業が目指す姿）

### ■ 事業が目指す姿について



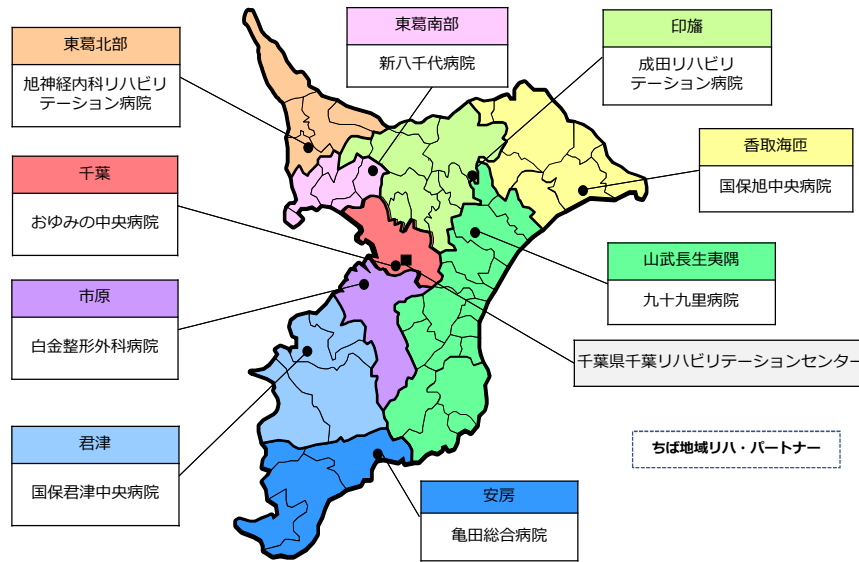
12

12

## 次期「千葉県保健医療計画」の図表（支援体制図）

### ■ 千葉県内の地域リハビリテーション支援体制

- 千葉県リハビリテーション支援センター
- 地域リハビリテーション広域支援センター（令和5年4月1日現在）

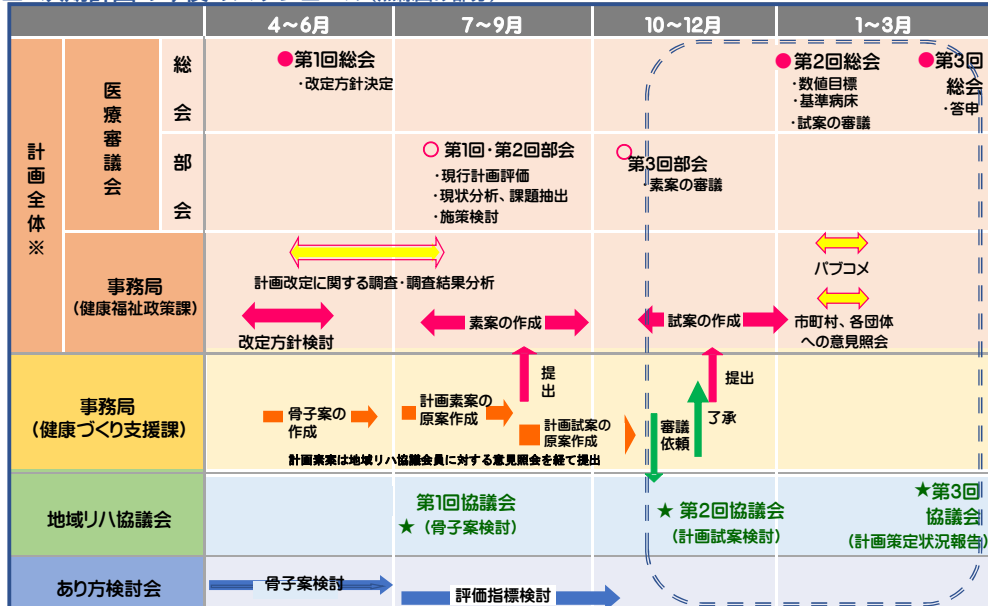


13

13

## 次期「千葉県保健医療計画」 今後のスケジュール

### ■ 次期計画の今後のスケジュール(点線囲み部分)



※ 計画全体のスケジュールは、令和5年度千葉県医療審議会総会（令和5年6月7日開催）の資料をもとに作成

14

14

ご清聴ありがとうございました。



お問い合わせ先  
千葉県健康福祉部  
健康づくり支援課地域リハビリ班  
電話 043 - 223-2482